

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 526

政策体系	26	事業分類	ハード事業	所管部局	土木建築部 道路河川課
会計	一般会計	科目	8. 土木費 - 3. 河川費 - 2. 河川改 現年		
事業名	河川改修事業				
細事業名	統合準用河川改修費補助 準用河川板野川				
				評価表作成者	土木建築部 道路河川課 松本純一

1. 事業の概要

延長	1,800m
治水安全度	1/5
計画流量	15~40m ³ /s

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け	効率的で効果的な土木行政を確立する。
②事業を実施する必要性	浸水被害による農業生産基盤保護等、流域住民の生命、財産を守り、安全性の確保を図る。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	443,123	201,300	7,200	25,260	7,000		
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	2,400	2,400	1,200	0		
財源内訳	使用料・手数料等	千円				0	0		
	国・府支出金	千円				8,000	0		
	地方債	千円				0	0		
	一般財源	千円				17,260	7,000		
職員等の従事人員		人/年	—			0.40			
人件費		千円	—			2,988			
事業費総額		千円	—			27,048			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

業務委託料	7,692,300円
土地購入費	16,307,900円

5. 事業結果の概要

護岸詳細設計業務	1件
創設換地に関する協定	1件

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

本事業は長期に渡る大規模な事業で、本事業区域で実施の他事業と密接に関わる事業であることから、今後も施工調整を十分に図りながら効率的な執行が求められる。
本事業の進捗については、事業延長1800mのうち難関で最も事業費を要する下流のJR軌道下付近約50m間が完成しており、平成22年度は21年度繰越事業と併せて上流域の一部区域の用地買収と河川の詳細設計を実施した。今後は未整備区間の下流側から順次事業進捗を図ることとしている。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

■平成21年度の所属長評価